

2026/10/16 (予定) 機能追加

## 原価を税込で入力したい 他 29 件

Ver.260930

### 伝票

#### 原価を税込で入力したい

原価を税込で入力できるようになりました。

- ・ [\[商品\] メニュー](#)や[\[取引単価\] メニュー](#)で、単位原価を税込で登録できます。
- ・ 伝票の原価入力方法（税抜・税込・税なし）の初期値を、[\[得意先\] メニュー](#)や[\[商品\] メニュー](#)で設定できます。
- ・ 伝票では、売上金額の消費税自動計算にかかわらず、原価入力方法（税抜・税込・税なし）を指定できます。
- ・ 納品書や請求書などのオリジナルフォームに、「税込単位原価」項目が追加されました。

#### 対応メニュー

[取引先管理 - 得意先 - 得意先] メニュー

[商品管理 - 商品 - 商品] メニュー

[販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 契約処理 - 見積書] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 受注処理 - 受注伝票] メニュー

[販売管理 - 受注処理 - 出荷指示] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 売上処理 - 売上伝票] メニュー

#### 税処理画面の表示位置を、入力中の明細付近に変更

伝票で[F4：税処理]を押して表示される税処理画面の表示位置を、以下のように入力中の明細の項目付近に変更しました。税処理画面はお好きな位置に移動できます。

これにより、消費税を設定する明細を確認しやすくなりました。

#### 変更前

#### 変更後

#### 対応メニュー

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー  
〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー  
〔債権管理 - 請求処理 - 債権伝票〕メニュー  
〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー  
など、税処理画面を表示できるすべてのメニュー

## 伝票で倉庫・棚番・ロットを検索する際に、在庫数量を確認したい

蔵奉行

伝票の〔倉庫検索〕画面・〔棚番検索〕画面・〔ロット検索〕画面で、倉庫ごと・棚番ごと・ロットごとの在庫数量を確認できるようになりました。

在庫数量を表示する場合は、〔検索〕画面の〔項目選択〕ボタンをクリックして、表示したい項目を選択済項目に設定します。

### 対応メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー  
〔販売管理 - 受注処理 - 出荷指示〕メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

## 在庫割れをする前に警告を表示したい

蔵奉行

伝票の登録時に、在庫数量が在庫割れ警告ラインを下回ると、警告を表示できるようになりました。

『蔵奉行クラウド』の[「仕入管理規程」メニュー](#)の〔在庫管理〕ページで、在庫割れ警告ライン（発注点結果 × 掛率）を設定します。

詳細は、目的から探す「[在庫割れチェックをする](#)」をご参照ください。

### 対応メニュー

『蔵奉行クラウド』の〔法人情報 - 規程 - 仕入管理規程〕メニュー  
〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー  
〔販売管理 - 受注処理 - 出荷指示〕メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

## 未来の日付の伝票を含めて在庫割れをチェックしたい

蔵奉行

これまでは伝票日付時点の在庫数量で在庫割れをチェックしていましたが、未来の日付の入荷数量・出荷数量も含めて在庫割れをチェックできるようになりました。

『蔵奉行クラウド』の[「仕入管理規程」メニュー](#)の〔在庫管理〕ページで、「未来の日付の伝票を含めて在庫割れチェックする」にチェックを付けます。

詳細は、目的から探す「[在庫割れチェックをする](#)」をご参照ください。

### 対応メニュー

『蔵奉行クラウド』の〔法人情報 - 規程 - 仕入管理規程〕メニュー  
〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー  
〔販売管理 - 受注処理 - 出荷指示〕メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）  
〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

## 受注伝票の明細ごとに請求日付を入力したい

受注伝票の明細ごとに請求日付を入力できるようになりました。異なる請求日付を入力した受注明細は、請求日付ごとに分けて売上伝票へリレーできるため、請求書を分けて発行できます。

受注伝票の明細ごとに請求日付を入力するには、[「販売管理規程」メニュー](#)の〔販売管理〕ページで、「受注伝票の請求日付入力」を「する」に設定します。

### 対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 販売管理規程〕メニュー  
〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

## サブスクリプションの売上予定を作成する際に請求日付も入力したい

Sシステム

奉行V ERP

サブスクリプションの売上予定を作成する際に、請求日付も入力できるようになりました。

詳細は、目的から探す「[サブスクリプションの売上予定を作成する](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー

### 受注伝票の入力時に、前の明細行の出荷予定日・発注納品期日・納品期日・請求日付を次の明細行にも表示したい

前の明細行の出荷予定日・発注納品期日・納品期日・請求日付を、次の明細行に初期表示できるようになりました。

同じ日付を続けて入力する場合に、日付を入力する手間が省け、入力ミスも防げます。

前の明細行の日付を初期表示するには、[「受注伝票」メニュー](#)の〔F5：操作設定〕の〔運用〕ページで、「前行出荷予定日表示」「前行納品期日表示」「前行請求日付表示」、〔伝票同時入力〕ページで「前行発注納品期日表示」を「する」に設定します。

#### 対応メニュー

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

### 即時入金時に、販売処理区分の回収方法を使用する設定を追加

債権計上と即時入金で異なる回収方法を使用する場合などに、販売処理区分に設定した回収方法を、即時入金の回収方法として初期表示する設定を追加しました。

[「販売管理規程」メニュー](#)の〔販売管理〕ページで、「得意先の〔請求〕ページで指定した回収方法を使用する」のチェックを外すと、[「得意先」メニュー](#)の〔販売〕ページの「即時入金－回収方法」が未設定の場合に、販売処理区分に設定した回収方法を初期表示できます。

詳細は、目的から探す「[売上債権仕訳・入金仕訳の科目の決まり方](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 販売管理規程〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上確定〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 検収リスト〕メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から〔汎用データ受入 - 販売管理 - 売上伝票データ受入〕メニュー

### 売上と仕入の同時入力時に仕入No.、受注と発注の同時入力時に発注No.も確認したい

Sシステム

奉行V ERP

『蔵奉行クラウド』の『Sシステム』または『蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合に、売上と仕入、受注と発注を同時に入力して登録すると、売上No.・受注No.だけでなく、仕入No.・発注No.も確認できるようになりました。

詳細は、目的から探す「[受注伝票と発注伝票を同時に入力する](#)」「[売上伝票と仕入伝票を同時に入力する](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

### 売上と仕入を同時入力した伝票の修正制限を緩和

Sシステム

奉行V ERP

『蔵奉行クラウド』の『Sシステム』または『蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合に、売上伝票と仕入伝票を同時に入力した伝票について、請求締め・精算締めや入金消込・支払消込の状況に応じた修正制限を見直しました。

- 請求締め済みまたは入金消込済みで、精算締めおよび支払消込をしていない場合は、仕入側の項目を修正できるようになりました。
- 精算締め済みまたは支払消込済みで、請求締めおよび入金消込をしていない場合は、売上側の項目を修正できるようになりました。

#### 対応メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

請求書発行済みの伝票の修正・削除を禁止する設定を追加

[\[販売管理規程\] メニュー](#)の「債権管理」ページに、「請求書発行済みの伝票の修正、削除を禁止する」の設定を追加しました。

この設定にチェックを付けると、請求書発行済みの売上伝票・債権伝票・入金伝票は、修正や削除ができなくなります。これにより、請求書の発行後に請求内容が意図せず変更されることを防止できます。

対応メニュー

- 「法人情報 - 規程 - 販売管理規程」メニュー
  - 「販売管理 - 売上処理 - 売上伝票」メニュー
  - 「債権管理 - 請求処理 - 債権伝票」メニュー
  - 「債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報」メニュー（「入金情報の入力形式」が伝票形式の場合）
  - 「債権管理 - 入金処理 - 入金消込」メニュー
  - 「債権管理 - 入金処理 - 入金伝票」メニュー
- など、伝票を修正・削除できるメニュー

請求締め済みの期間に売上伝票を登録する際の動作を変更

[\[販売管理規程\] メニュー](#)の「債権管理」ページで、「請求締め済みの期間の伝票の新規登録、修正、削除を禁止する」のチェックを外した場合の動作を変更しました。

請求締め済みの期間であっても、請求締めを取り消さずに請求単位と回収予定確定単位が「請求締め」の売上伝票を新規登録できるようになりました。

登録時に表示される請求締めの取り消しを確認するメッセージで、「キャンセル」ボタンを押すと、請求締めを取り消さずに登録できます。

対応メニュー

- 「法人情報 - 規程 - 販売管理規程」メニュー
- 「販売管理 - 売上処理 - 売上伝票」メニュー

メニュー名の変更（「消込差額調整方法」メニュー）

| 変更前                        | 変更後                                |
|----------------------------|------------------------------------|
| 「法人情報 - 規程 - 消込差額調整方法」メニュー | 「法人情報 - 規程 - <b>入金消込調整方法</b> 」メニュー |

[\[入金消込調整方法\] メニュー（旧「消込差額調整方法」メニュー）](#)では、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に、今までの手数料や消費税違算の差額調整に加え、値引や入金調整 1 ～ 6 の計算式も設定できるようになりました。これに伴い、メニュー名が変更されました。

取引先ごとに設定した計算式で、値引や入金調整額を自動計上したい

債権奉行

[\[入金消込\] メニュー](#)で入金伝票作成単位を「回収予定」または「債権伝票」にして消込する場合に、あらかじめ設定した計算式をもとに、値引や入金調整 1 ～ 6 を自動計上できるようになりました。

また、「[F9：一括変更]」で一時的に計算式を設定し、値引や入金調整 1 ～ 6 を自動計上することもできます。

あらかじめ計算式を設定する場合は、[\[入金消込調整方法\] メニュー（旧「消込差額調整方法」メニュー）](#)で設定します。

入金消込調整方法は複数パターン登録でき、[\[得意先\] メニュー](#)の「入金」ページで、取引先ごとに適用する入金消込調整方法を設定できます。

これにより、取引先ごとに異なる値引や入金調整額の計算ルールに対応できます。

対応メニュー

- 「法人情報 - 規程 - 入金消込調整方法」メニュー（旧：「法人情報 - 規程 - 消込差額調整方法」メニュー）
- 「取引先管理 - 得意先 - 得意先」メニュー
- 「債権管理 - 入金処理 - 入金消込」メニュー（入金伝票作成単位が「回収予定」または「債権伝票」の場合）

セグメントの最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、セグメントを 99,999 件まで登録できるようになりました。  
詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

- 〔法人情報 - セグメント - セグメント1〕メニュー
- 〔法人情報 - セグメント - セグメント2〕メニュー

### プロジェクト・プロジェクト区分の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、プロジェクトを 999,999 件まで、プロジェクト区分を 99,999 件まで登録できるようになりました。  
詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

- 〔法人情報 - プロジェクト - プロジェクト〕メニュー
- 〔法人情報 - プロジェクト - プロジェクト区分〕メニュー（『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合）

## 取引先管理

### 得意先・得意先区分・直送先の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、得意先・直送先を 999,999 件まで、得意先区分を 99,999 件まで登録できるようになりました。  
詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

- 〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー
- 〔取引先管理 - 得意先 - 得意先区分〕メニュー
- 〔取引先管理 - 直送先 - 直送先〕メニュー

## 商品管理

### 商品・バリエーション区分・荷姿・商品区分・セット商品の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、以下の件数まで登録できるようになりました。

| マスター       | 最大登録件数      |
|------------|-------------|
| 商品         | 999,999 件   |
| バリエーション区分  | 9,999 件     |
| 荷姿         | 4,999,995 件 |
| 商品区分・セット商品 | 99,999 件    |

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

#### 対応メニュー

- 〔商品管理 - 商品 - 商品〕メニュー
- 〔商品管理 - 商品 - バリエーション〕メニュー
- 〔商品管理 - 商品 - 荷姿〕メニュー
- 〔商品管理 - 商品 - 商品区分〕メニュー
- 〔商品管理 - セット商品 - セット商品〕メニュー

# 価格管理

## 仕切り率・算出価格・統一伝票規格の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、仕切り率・算出価格・統一伝票規格を 999,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

### 対応メニュー

- 〔価格管理 - 取引単価 - 仕切り率〕メニュー
- 〔価格管理 - 取引単価 - 算出価格〕メニュー
- 〔価格管理 - 統一伝票 - 統一伝票規格〕メニュー

# 債権管理

## クレジット会社を得意先・請求先・入金先として入力可能

[\[得意先\]メニュー](#)で種別を「2：クレジット会社」として登録した取引先を、売上伝票の得意先や請求先、入金情報の入金先として入力できるようになりました。

[\[得意先\]メニュー](#)では、クレジット会社についても、得意先として使用する各項目を入力できるようになりました。これにより、クレジットで回収する売掛金をクレジット会社に対する債権として計上できます。

### 対応メニュー

- 〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー
  - 〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー
  - 〔債権管理 - 請求処理 - 債権伝票〕メニュー
  - 〔債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報〕メニュー
  - 〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー
- その他、債権伝票・入金伝票を作成する各メニュー

## ネットティング（相殺消込）の機能を追加

Sシステム

奉行V ERP

『蔵奉行 i クラウド』の『Sシステム』または『蔵奉行V ERPクラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合に、[\[相殺消込\]メニュー](#)などが追加されました。

当サービスの未回収の債権と、『蔵奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』の未支払の債務を相殺して消込できるようになりました。

詳細は、メニューから探す「相殺消込」をご参照ください。

### 追加メニュー

- 〔債権管理 - 請求処理 - ネットティング - 相殺消込〕メニュー
- 〔債権管理 - 請求処理 - ネットティング - 相殺伝票〕メニュー
- 〔債権管理 - 入力補助 - 伝票No. - 相殺伝票No.〕メニュー
- 〔債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 相殺仕訳連携〕メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー

- 〔汎用データ作成 - 債権管理 - 相殺伝票データ作成〕メニュー
- 〔汎用データ受入 - 債権管理 - 相殺伝票データ受入〕メニュー
- 〔一括削除 - 債権管理 - 相殺伝票一括削除〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

### 対応メニュー

メインメニュー右上の（設定）から〔運用設定〕メニュー

ダッシュボードの以下のカード

「未承認状況」カード

「未申請状況」カード

「本日までの仕訳未作成」カード

「伝票ロック」カード

「法人情報 - 規程 - 販売管理規程」メニュー

「取引先管理 - 得意先 - 得意先」メニュー

「債権管理 - 入力補助 - 伝票摘要設定」メニュー

「債権管理 - 入金処理 - 入金伝票」メニュー

「債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表」メニュー

「債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表」メニュー

「債権管理 - 電子帳簿保存 - 入金伝票履歴」メニュー

「債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票初期設定」メニュー

メインメニュー右上の（設定）から「帳票別プリンター」メニュー

## 得意先元帳で、消費税の調整伝票（消費税伝票）も販売処理区分ごとに集計したい

請求締め時に作成される消費税の調整伝票（消費税伝票）に、締め対象の売上伝票に応じて、販売処理区分が自動でセットされるようになりました。【F9：消費税】を押して確認・変更ができます。

これにより、[「得意先元帳」メニュー](#)で、販売処理区分ごとの金額を消費税伝票を含めて確認できるようになりました。

### 対応メニュー

「債権管理 - 請求処理 - 請求締め」メニュー

## 入金消込時に、未消込額に対する割合（％）を指定して入金調整額を自動計算したい

[「入金消込」メニュー](#)の【F9：一括変更】で、未消込額に対する割合（％）を指定して、入金調整1～6を自動計算できるようにしました。

### 対応メニュー

「債権管理 - 入金処理 - 入金消込」メニュー

## 管理帳票

### 管理帳票で「販売処理区分」で絞り込んだ金額を確認したい

[「売上集計表」メニュー](#)などの管理帳票で、「販売処理区分」を集計軸項目や絞込条件に指定できるようになりました。

### 対応メニュー

「販売管理 - 契約処理 - 見積明細表」メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

「販売管理 - 受注処理 - 受注明細表」メニュー

「販売管理 - 売上処理 - 売上明細表」メニュー

「販売管理 - 管理帳票 - 見積集計表」メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

「販売管理 - 管理帳票 - 受注集計表」メニュー

「販売管理 - 管理帳票 - 売上集計表」メニュー

「販売管理 - 管理帳票 - 売上消費税額集計表」メニュー

「販売管理 - 分析帳票 - 受注推移表」メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

「販売管理 - 分析帳票 - 売上推移表」メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

「販売管理 - 分析帳票 - ABC分析」メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

「販売管理 - 分析帳票 - 行列表」メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表〕メニュー  
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

## 得意先元帳の計行に、金額が 0 円の販売処理区分を表示したくない

〔得意先元帳〕メニューで、金額が 0 円の販売処理区分の計行を表示するかを選択できるようになりました。

販売処理区分「現金売上」や「クレジット」の金額が 0 円で計行を表示したくない場合は、〔得意先元帳 - 条件設定〕画面の〔詳細〕ページで、月計行・小計行・合計行ごとに「金額が 0 の処理区分を表示する」のチェックを外します。

### 対応メニュー

〔販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳〕メニュー

## オリジナルフォーム

### 見積書・納品書に販売処理区分を印字したい

見積書・納品書の印字項目に「販売処理区分コード」「販売処理区分名」を追加しました。

### 対応メニュー

メインメニュー右上の （設定）から以下のメニュー

〔オリジナルフォーム - 見積書フォーム〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

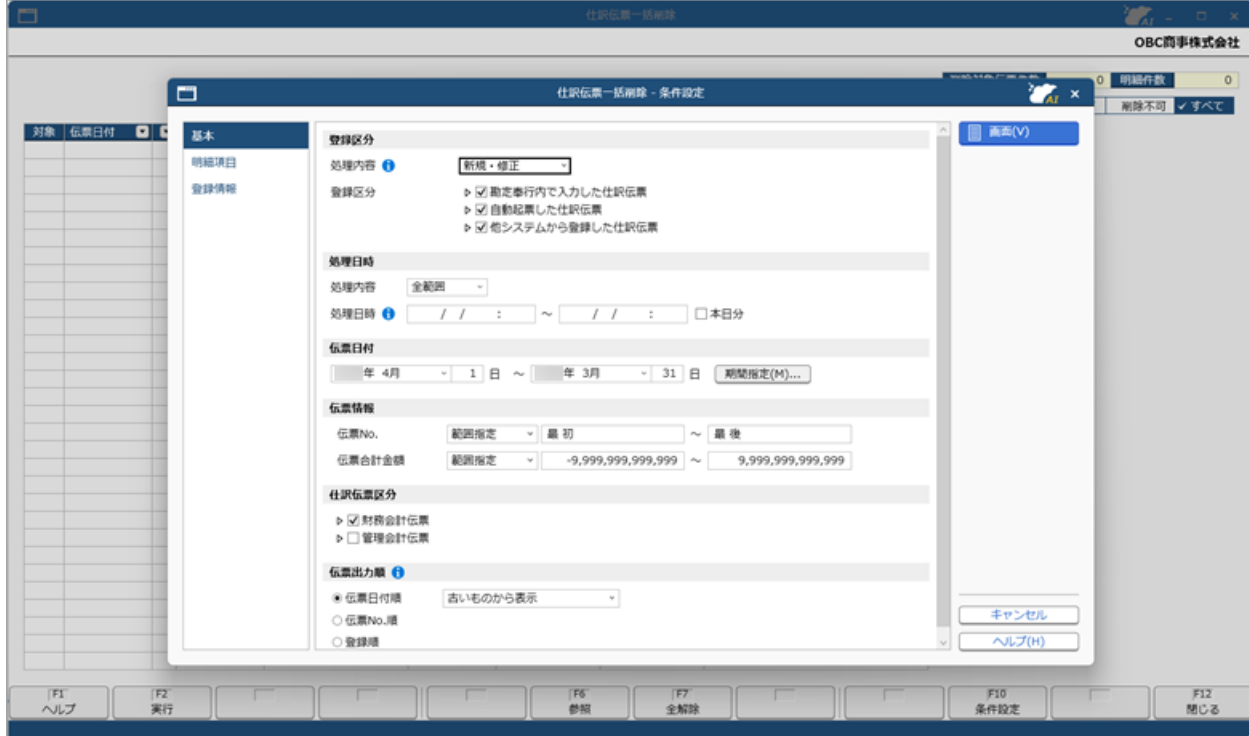
〔オリジナルフォーム - 納品書フォーム〕メニュー

## 奉行AI

### 「奉行AIチャット」からのメニュー起動に対応

「奉行AIチャット」で、AIの回答に表示されたメニュー名をクリックして、メニューを直接起動できるようになりました。





（『勘定奉行クラウド』の画面です。）

## 発行請求書DXクラウド

[発行請求書DX](#)

### 『郵送代行オプション』に、FAX代行サービスを追加

[郵送代行](#)

『郵送代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』に、帳票をお客様に代わってFAX送信するサービス（FAX代行サービス）を追加しました。FAX代行業者の設備を利用して、得意先へFAX送信できます。

これに伴いオプション名を『郵送代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』から『郵送/FAX代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』に変更しました。

- 『郵送/FAX代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』を初めて利用する場合は、別途「株式会社電算システム」（郵送／FAX代行業者）との契約が必要です。
- FAX送信時には費用がかかります。

### ダッシュボード「帳票配信状況」カードからのFAX送信

帳票を得意先へFAX送信するには、ダッシュボード「帳票配信状況」カードの「[帳票配信](#)」画面から配信します。帳票のPDFがFAX代行業者へ送信され、得意先へFAX送信されます。また、スケジュール配信にも対応しています。

#### 対応メニュー

- 「取引先管理 - 得意先 - 得意先」メニュー
- 「販売管理 - 契約処理 - 見積書」メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- 「販売管理 - 受注処理 - 受注伝票」メニュー（納品書）
- 「販売管理 - 受注処理 - 出荷指示」メニュー（納品書）（『入出荷管理オプション』をご利用の場合）
- 「販売管理 - 売上処理 - 売上伝票」メニュー（納品書）
- 「債権管理 - 請求処理 - 請求書」メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カードの「帳票配信」画面

メインメニューで「債権奉行」を選択し、「請求処理 - 任意ファイル」メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から「汎用データ受入 - 取引先管理 - 得意先データ受入」メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から「kintone連携 - 発行請求書データ連携」メニュー

### 見積書、納品書のメニューからのFAX送信

見積書、納品書は、それぞれのメニューからもFAX送信できます。

対象の見積書または納品書を表示し、画面左上の奉行クイックコマンドの「FAX送信条件設定」からFAX送信します。  
送信履歴は、ダッシュボード「帳票配信状況」カードの [「帳票配信」画面](#) で確認できます。

## 対応メニュー

- 〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- 〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー（納品書）
- 〔販売管理 - 受注処理 - 出荷指示〕メニュー（納品書）（『入出荷管理オプション』をご利用の場合）
- 〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー（納品書）

## その他

### 伝票の種類ごとに最大明細件数まで登録できるように変更

今までは、最大明細件数を全伝票の明細件数の合計で計算していましたが、今後は伝票の種類ごとの明細件数で計算するようになり、登録可能な明細数が増えました。

#### 例

最大明細件数が200,000件の場合

今まで：すべての伝票を合わせて200,000件まで登録可能

今後：伝票の種類ごとに200,000件まで登録可能

これに伴い、ダッシュボード「利用状況」カードには、登録済みの明細件数と最大明細件数が伝票の種類ごとに表示されます。

## 対応メニュー

ダッシュボード「利用状況」カード

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。